

# 第59回東海村地域福祉計画推進会議 議 事 録

- 1 日 時 令和3年2月25日（木） 午後5時30分～午後7時
- 2 場 所 205会議室
- 3 出席者 ・地域福祉計画推進会議委員（別紙名簿のとおり）  
（欠席：鈴木雄大委員，鈴木竣介委員）  
・アドバイザー：稲垣美加子先生（淑徳大学教授）※Web会議出席  
・事務局：関田部長，大内課長，山口補佐，渡邊係長，  
飛田主任，福島主事，黒羽

## 結 果（要点）

- (1) 第4次東海村地域福祉計画（素案）の変更点について
- (2) 第4次地域福祉計画（素案）パブリックコメント結果について  
事務局より配布資料1，2に基づき説明を行った後，各グループで気づいた点等を話し合い，意見を出し合った。
- (3) 第4次地域福祉計画（概要版）（子ども版）について  
事務局より配布資料3，4に基づき説明を行った後，各グループで気づいた点等を話し合い，意見を出し合った。
- (4) その他  
今年度の地域福祉計画推進委員会は本日で最後となるため，各委員より一言コメントをいただいた。

## 1 開 会

### 2 委員長あいさつ（深谷委員長）

こんばんは。会議に参加する前に資料にひと通り目を通したが、委員の方々の素晴らしい最後の言葉があり、参加して良かったと感じるとともに、前任の委員長から引き継いだ後、「私で良いのか」とずっと考えながらの参加であったが、皆さんの「頑張れ、頑張れ」という思いとともに歩ませていただいたと感じている。

また、東日本大震災から来月で10年になる。そして、現在新型コロナウイルスがあり、こんなときだからこそ、皆さんの力が発揮され、地域の方々の「頑張っていこう」という声が日々たくさん聞こえてくる。そのため、この思いの詰まった計画が一人でも多くの人に目を通してもらったり、共感してもらったりしてもらいたい。今日は総まとめということで、皆さんの意見をいただきながら形にしたい。今日もよろしく願います。

### 3 アドバイザーごあいさつ（淑徳大学教授 稲垣 美加子 先生）

皆さんこんばんは。先日の地震はいかがだったか。災禍なくお過ごしだろうか。こちらは、研修室の高いところにある写真の額が落ちた程度であったが、委員長のあいさつにもあったように、3.11を思い出すような地震であった。

また、東海村はJCOの臨界事故を経験し、災害に関してはもう一つの思いがあるのではないか。あの当時は、PTSDという言葉が村内で初めて使われたのではないか。被ばくへの怖さの中、茨城県内で「災害」ということを初めて意識したという意味では、東海村は他の地域に先駆けて「災害とともに生きていくということはどのようなことなのか」を考えた地域だろうと思う。そして、東日本大震災から10年を迎え、これから落ち着いた地域づくりができると思ったら”with コロナ”で、「私たちは生きづらさとともにどう生きていくのか」を考えさせられた。弱者を高齢者や障がい者に限定しがちだが、今何時、我々一人ひとりがどんな場面で誰かの手助けがなければ、生きること、暮らすことあるいは災害の時に逃げることに、家族を守ることが難しくなるかわからない。他人事ではなく、その都度思い返されていく。計画の中の皆さんのコメントを拝見して、また新たに皆さんに励まされた。残りの日々の中で皆さんにいただいたものを大学や様々な研修の場面で若い人たちにどう伝えていくのか、また勉強させていただきたい。本日もよろしく願います。

## 4 議 事

### （1）第4次地域福祉計画（素案）変更点について

事務局から配布資料1, 2に基づいて説明を行った後、各グループで気づいた点等について話し合い、意見を出し合った。

#### 【委員】

84ページ：大人の活動だけでなく、高校生会の活動も入れてはどうか。

#### 【委員】

計画91ページに高校生会の写真等もあると良い。

#### 【事務局】

若い世代の団体の活動をもう少し記載したい。  
その他見づらい部分はあるか。フォントの大きさ等はこれ以上調整することは難しいが、色合い等の意見はあるか。

#### 【委員】

計画 8 4 ページに記載の民生委員・児童委員の活動について、他の団体の活動と比べるともう 1 ページ追加しても良いのではないか。

#### 【事務局】

活動の様子等の写真など追加したい。

### (2) 第 4 次地域福祉計画（素案）パブリックコメント結果について

事務局からパブリックコメントの実施方法と結果及び今後のスケジュールについて、下記のとおり報告した。

#### 【実施方法】

- 1) 東海村内コミセン（6ヶ所）、総合福祉センター「絆」、福祉総務課窓口への掲示
- 2) 東海村公式ホームページへの掲載
- 3) 広報とうかいへの掲載
- 4) SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE）への掲載

#### 【結果】

パブリックコメント件数：0 件（ホームページアクセス数：89 件）

#### 【今後のスケジュールについて】

- 1) 3 月中に下記団体へ概要版をもとに説明を実施する。
  - ・東海村民生委員・児童委員協議会
  - ・ボランティア連絡協議会
  - ・地区社協会長連絡会
- 2) 3 月に庁議に諮り、決定後 4 月以降に村広報紙等で地域福祉計画について周知を図る予定。

### (3) 第 4 次地域福祉計画（概要版）（子ども版）について

事務局から資料 3 に基づき、概要版及び子ども版について説明を行った後、各グループで気づいた点等について話し合い、意見を出し合った。

#### 【事務局】

第 4 次地域福祉計画の概要版を作成した。今回の案は、第 3 次地域福祉計画（概要版）のデザインや構成を反映しているため、変更も可能である。表現や色合い等気づいた点があれば御意見いただきたい。

(概要版について)

**【グループA】**

- ・ 1 ページ：文章の切れ目が不自然で読みにくいいため、修正できると良い。
- ・ 4～5ページ：各基本目標の文字が文章の色と同化している。目立つように文字色を変更したり、下部に記載の（施策例）を太めの枠線で囲ったりするともっと見やすくなるのではないかな。
- ・ 6 ページ：概要版とはいえ、どのような取組みをしていくのか方向性が見えると良いと思うため、具体的な施策例まで入っていると良い。概要版しか見ない人は消化不良である。しかし、計画の内容が多いため、人によっては抵抗感があると思われる。バランスを見て、もし加筆できるのであれば入れられると良い。
- ・ 3 ページ：会議の様子の写真に吹き出しを付けるなど、会議での話し合いの様子を可視化できるものを追加すると面白いのではないかな。
- ・ その他：本編にもSDGsについて記載しているが、概要版にもそれぞれの基本目標に対して、小さくても良いのでSDGsのアイコンを表示してもよいのではないかな。また、SDGsは、今後子どもたちにも知ってもらうため、子ども版にも入れると効果的なのではないかな。

**【グループB】**

- ・ 表紙：副題をぜひ入れてほしい。
- ・ 1 ページ：六角形の部分を住民の声のような吹き出しにすると見た目も柔らかくなるのではないかな。
- ・ 2 ページ：「計画の位置づけ」の色合いについて、どの計画がメインかわかるように、地域福祉計画を赤に、社協を緑にした方がわかりやすいのではないかな。
- ・ 3 ページ：イラストだけでなく、会議での話し合いの様子が分かるように、もう少し写真を載せられると良いのではないかな。
- ・ 4 ページ：イラストを写真に変更して活動の様子を伝えることができると内容が理解しやすくなるのではないかな。詳細版の59ページのようにすると見やすいのではないかな。
- ・ 6 ページ：詳細版の63ページでは基本目標ごとに色分けされており、同じように編集すると見やすくなるのではないかな。概要版の4～5ページの色合いも詳細版に合わせると見やすくなると思う。
- ・ 7 ページ：(3)の表の幅が大きいため、余白を狭めるともっと見やすくなるのではないかな。フクロウのイラストはかわいいが消しても良いのではないかな。また、イモゾーのイラストがぼやけているため、見やすくなるが良い。

**【事務局】**

「3 計画策定・実施手法」と「4 計画期間」は、まとめて記載したい。

**【稲垣先生】**

SDGsについては、一覧でまとめたものがあり、子どもの権利条約でも使用されている。先ほど委員の指摘にもあったが、事業内容とともにSDGsのアイコンを概要版にも記載できると良いのではないかな。私は元々家庭福祉を専門にしているが、子どもの権利条約について皆さんに知ってほしい想いがある。地域福祉というと高齢者福祉に偏りがちだが、地域の

中で子どもたちを守り育てていくことを伝えたいという思いがある。このように、少ないスペースで多くのことを伝える工夫が、概要版ではより必要ではないかと皆さんの話し合いを聞いて感じた。

また、概要版7ページの「8 計画の実現のために(3)」の部分だが、大学の学生に記録を書く際に使ってはいけない・使わないように指導している表現が、「きちんと・ちゃんと・しっかりと」である。なんとなくニュアンスは伝わる表現だが、進行管理を随時明確に行っていく、随時具体的に行っていく等の表現を用いた方が良い。この計画の中で示している進行管理が、どのような役割や機能を持つものを明確に表現することが必要である。非常に便利な言葉だが、特に進行管理に必要であれば、具体的に「何を」、「どのように」、「いつ」評価していくのか明確にし、なるべく抽象的な表現は避けた方が良い。

その他、気になった部分として、詳細版7ページの「邪魔者扱い」という言葉がきついと感じる。そのため、もう一度注意して計画全体の言葉について見直したい。社会福祉の計画であるため、使用している言葉が人々を排除したり、抑圧したりするキーワードにならないような表現にしたい。自分が言われて「嫌だな」と思う言葉、周りの友達が言われていて「悲しんでいたな」という言葉があった際には教えてもらいたい。これがまさに住民主体で、皆さんの計画であり、計画を作るときに非常に大切なポイントである。「言霊」という言葉があるが、言葉には魂が宿ると言われ、その言葉を繰り返し使うことが、自分や相手の中に価値観を生む。たかが言葉されど言葉であるが、計画の中では大切にしていきたい。

(子ども版について)

#### 【事務局】

子ども版については、前々回の会議の際に大幅に第3次地域福祉計画の子ども版を修正していただいた。第4次地域福祉計画の子ども版では第3次を継承して、子どもたちにも理解してもらえらるものを作り、配布したい。最終的にこの内容で良いのか確認したいため、御意見いただきたい。

#### 【グループA】

- ・子どもたちへの投げかけを強調しても良いのではないかな。見開きのページで子どもたちへ問いを投げかけ、ページをめくるとその問いに対する内容が確認できるような構成にする  
とめくる楽しみもあり、子どもたちも食いついてくれるのではないかな。ただ、福祉学習として子ども版を教材として補完する人がいないと成立しないかもしれないが、このような要素を持たせても面白いのではないかな。
- ・背景の色が荒く、読みにくいいため、もう少し修正した方が良い。
- ・最終ページ「自分たちにも、何かできることがないかな？」の枠内の文字が小さいため、もう少し工夫した方が良い。

#### 【グループB】

- ・子どもにとって高齢者でも障がい者でも人数に関係なく、大切な存在であるため、統計の数字は入れなくても良いのではないかな。
- ・「困っている人がいたときは手伝えることが大切だよ」と伝えることが大事で、行動することが大事であるというヒントがあると良い。子どもが読むことが前提であるため、子どもの立場で考えると良いのではないかな。
- ・イモゾーを一番上に配置して、その下に数値の情報を配置しても良いのではないかな。

- ・表紙の表題の文字をもっと大きく太くしても良いのではないか。
- ・表紙のイラストはマスクをしているが、マスクをしたイラストのまま令和7年度まで使用するのだろうか。

#### 【事務局】

- ・構成については、御意見を参考に子どもに伝わりやすい割り振りを検討したい。
- ・計画期間の途中で表紙のイラストを変えることはできるのだろうか。コロナウイルスが落ち着いたらマスクを外したイラストに変更することも検討する。

#### 【稲垣先生】

右のページに主任児童委員が出てくるため、左のページには、地域で活動している民生委員や自治会、地区社協等を入れても良いのではないか。地域のために活動している方々の活動を紹介しても良いのではないか。

また、「おじいちゃん、おばあちゃんの家に行ってお話をする」とあるが、色々な意味でお話に行っても良いものかと思う。例えば「おじいちゃん、おばあちゃんとコミュニケーションを取る」などの言葉にした方が、今の時代は良いのではないか。さらに、「おじいちゃん、おばあちゃん」という言葉は、「親戚のおじいちゃん、おばあちゃん」なのか「地域のおじいちゃん、おばあちゃん」なのかわからない部分である。社会全体としては高齢者と呼んでいるが、「おじいちゃん、おばあちゃん」は身内を指した表現だと思う。また、「高齢者」と「お年寄り」では、バリアがなく子どもたちに届く言葉はどちらなのかも考えていただきたい部分である。当事者としては、「高齢者」と呼ばれて嫌かどうか、親しみが伝わる呼ばれ方はどちらなのかを考えていただきたい。

#### 【事務局】

「高齢者」と「お年寄り」の表現について、若い委員はどのように感じるか。

#### 【委員】

「高齢者」は固い表現だと思う。

#### 【委員】

小学生とふれ合うときは、「おじいちゃん、おばあちゃん」や「お年寄り」と呼ぶ方が話は通じやすい。

#### 【委員】

2人の意見に同感である。また、「おじいさん、おばあさん」の方が良いかもしれない。

#### 【委員】

項目によって表現を使い分けることはできるのではないか。例えば語りかける際は「おじいさん、おばあさん」、形式的な表現では「高齢者」など。

#### 【事務局】

使い分けた表現を用いることは可能か。

【稲垣先生】

了承。

【事務局】

語りかける表現の際は「おじいさん、おばあさん」、形式的な表現は「高齢者」として子ども版に反映したい。

以上で、協議は終了とさせていただきます。今日の意見を反映したものを後日改めて送付するため、確認願いたい。

(4) その他

今年度の地域福祉推進計画は本日で最後となるため、各委員より一言コメントをいただいた。

5 閉 会